
第14期会頭就任挨拶

【スローガン】

小牧の持続的な経済発展を目指して

2022年11月1日

小牧商工会議所

会頭 梶本 一 典

1. 就任に当たって

この度、会頭候補者選考委員会そして皆様方のご推挙により、第13期に引続き第14期小牧商工会議所会頭を努めさせていただくことになりました。大変な重責ではありますが、微力ながら全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

第13期は「魅力ある小牧の経済発展に向けて」というスローガンのもとで活動してまいりました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、色々な活動が制限されました。また、会員の皆様におかれましても大変ご苦勞されたものと思います。

さて、昨今の内外経済情勢はロシアとウクライナの戦争によるエネルギー不足や食料不足、米中貿易摩擦の深刻化、そして為替が大きく円安に振れ、皆様ご存じの通り世界的な調整局面を迎えております。

私達の生活におきましても半導体不足で自動車をはじめとする製品の生産が滞ったり、部品の調達が困難になったりと、様々な影響が出てきております。

中小企業を取り巻く環境も日に日に厳しさを増しています。

商工会議所におきましても、残念ながらこまき産業フェスタを第13期任期中の3年間で一度も開催できませんでした。

そういう情勢ではありましたが、2021年度には年間を通じて会員拡大活動を実施し、計画（150社）をオーバーする220社に新たに入会をしていただくことができました。これもお声掛けしていただきました皆様のご努力と、コロナ禍で苦しんでおられる中小・小規模事業者さんに商工会議所が各種補助金の申請などで寄り添って活動してきた成果と思っています。

そこで小牧商工会議所といたしましては、こんな時こそ小牧市内の商工業者の皆さんの意見・要望に真摯に耳を傾け、更なる小牧の発展につなげていきたいと考えております。

経済成長のためには、「生産性の向上」が必須であり、市内中小事業者の生産性向上のために事業所に寄り添った伴走型の経営支援を実施していく必要があります。

それでは以下に、第14期の活動方針を申し述べます。

2. 活動方針

【スローガン】 小牧の持続的な経済発展を目指して

【重点項目】

- (1) 持続的発展に向けた中小・小規模企業の経営をサポート
- (2) 持続可能な地域づくりに向けた協働事業の展開
- (3) “こまきブランド”による小牧の魅力発信
- (4) 地域経済を支えていくための商工会議所機能の強化

3. 重点項目の取り組み内容

(1) 持続的発展に向けた中小・小規模企業の経営をサポート

- 1) 経営発達支援計画に基づく伴走型経営支援
- 2) 事業継続力強化計画に基づくBCP取り組み支援
- 3) SDGs取り組み支援
- 4) こまきプレミアム商品券事業による市内商業活性化支援
- 5) 人材確保支援事業の推進
- 6) こまき新産業振興センターとの連携・協働

(2) 持続可能な地域づくりに向けた協働事業の展開

- 1) こまき産業フェスタ開催
- 2) 会員交流事業の開催
- 3) 新会員懇談会開催

(3) “こまきブランド”による小牧の魅力発信

- 1) 「小牧発祥！名古屋コーチン」プロジェクト事業の継続
- 2) 製造業の多い小牧市の特徴を活かした、中小企業の高い技術力や新規事業開発等の新たなこまきブランドの発掘
- 3) 小牧ハイウェイオアシスの開業と運営に向けた支援

（４）地域経済を支えていくための商工会議所機能の強化

- 1) 行政への要望活動を通じた会員の声の結集
- 2) 会員のDX推進のため、会議所自身のDX促進
- 3) 情報発信力強化
- 4) 会員拡大活動による組織強化
- 5) 財政基盤強化

（2026年創立40周年記念式典の対応、商工会議所会館の修繕対応）

- 6) 災害対応力強化（会議所BCP）

以上の4つの重点項目を展開する上で、会員との双方向コミュニケーションの向上や行政、諸団体、近隣地域との連携強化など、現場主義の徹底とステークホルダーとの協働により、課題解決に向けた活動を展開する所存です。

4. 結 び

私は小牧商工会議所の会頭として、「共生とバランス」を大切にしていきたいと思っています。

共生とは、行政や近隣地域そして会員の皆さんと力を合わせて活動していくという思いを込めています。また、バランスとは、何事も偏ることがないように公平に行うということを意味しています。

皆様方から、多くのご意見やご提案をいただきながら、小牧の持続的な経済発展に尽くしていく所存でございます。

引続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。